

配 付 資 料

日 時 2016 年 9 月 10 日 (土) 15:30~16:00 (終了予定)
会 場 愛知教育大学 第二共通棟 431 講義室

司会 生駒 俊樹 関西支部副委員長

一 次 第 一

1. 開会の辞

2. 議長選出

3. 事業報告

- ・ 2015 年度事業報告 . . . (資料 1)
- ・ 活動日誌 . . . (資料 2)
- ・ 商標登録 . . . (資料 3)
- ・ 奨励研究採択者の件 . . . (資料 4)

4. 議決事項

- | | | |
|---------|-----------------|--------------|
| 第 1 号議案 | 2015 年度中間決算承認の件 | . . . (資料 5) |
| 第 2 号議案 | 2016 年度予算案の件 | . . . (資料 6) |
| 第 3 号議案 | 学会規約改定案の件 | . . . (資料 7) |
| 第 4 号議案 | 2016 年度事業計画案の件 | . . . (資料 8) |
| 第 5 号議案 | 新役員・特別顧問等承認の件 | . . . (資料 9) |

5. 2017 年度研究大会・総会の件 . . . (資料 10)

6. 閉会の辞

以上

《資料 1》 2015 年度 事業報告

1. 会員数の推移

会員は昨年より 64 名増加し会員数は、1,353 名(昨年比 105.0%)となった。

会員状況

※単位:名 (2016 年 8 月 31 日現在)

会員種別	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	前年比
正会員	859	920	949	960	1,017	57
正会員(院生)	122	134	136	143	148	5
学生会員	25	24	25	23	22	-1
賛助会員(個人)	131	134	131	124	127	3
賛助会員(団体)	41	41	40	39	39	0
合 計 (人)	1,178	1,253	1,281	1,289	1,353	64

2. 当学会の問題意識と基本的な考え方

今日、学校や事業組織、政府自治体の政策などでは、キャリアデザインという言葉は広汎に使われるに至っているが、その意味は必ずしも統一されているわけではない。学問分野を超えた学際的な学会として、用語の整理、概念の深化及び実態の多角的な検討など、キャリアに関する基礎研究の必要性は今後も変わらない。

付け加え、キャリアデザイン支援の有り方については、それぞれの発達段階における個々の事例研究のさらなる蓄積とともに、今後は各発達段階における支援の連続性と非連続性に着目し、あわせて各段階における多層性とその支援の多様性も視野に入れて活動する、との認識の下、諸活動を行った。

3. 今期および中期的活動計画

当学会は 2014 年に設立 10 周年を迎え、今期はその新たな 5 年、10 年に向けた始まりの年となった。すでに、10 周年記念誌において、当学会として取り組んできた研究の結果、解決したもの、積み残したものは何かを明らかにし、今後のキャリア研究の課題をまとめる作業を行い、さらに、第 11 回研究大会においても、その成果を踏まえた企画シンポジウムを行った。これらの成果とディスカッションを踏まえて、キャリアデザインの創造的相互作用を深化させるとともに、今後の新たな 10 年間の研究活動・社会的活動・地域活動の新たな発展の基礎を構築することを活動目標として、委員会組織の再編を行った。

また、学会活動およびそのサービスのさらなる発展と向上のため、様々な観点から学会運営のあり方を再点検し、より充実した効率的な学会活動を実現するための施策に着手した。

4. 研究組織委員会活動

当期方針の通り、新たな 10 年後を見据えた学会の方向性、学会スローガンを検討し、キャリアデザインに関する学術的研究の方向性および方針を総合的に検討した。また、学会の持続的発展を目指し、4 つのワーキンググループを立ち上げ多面的な視野で学会の課題解決に着手した。

(1)研究組織委員会の活動

以下のとおり、各委員長を中心として委員会活動を推進した。

①研究組織委員会

玄田有史委員長のもと、各委員会の運営方針について検討し、第 13 回研究大会の大会テーマ、基本方針を決定した。また、今後 10 年を見据えた学会の方向性を検討し、学会スローガン「キャリアを科学する～紡いだキャリアが、明日を輝かせる～」の実現に向け、多角的な検討を実施した。

②研究大会企画委員会

青木猛正委員長のもと、第 13 回研究大会の大会テーマ、基本方針を受け、自由研究発表の募集、学会企画、特別講演、シンポジウムの検討、プログラムの策定、司会者・コメンテーターを決定し、大会の運営を行った。

また、学会奨励研究の要項を作成し、学会HPで募集を行い 5 件採択した。

③研究会企画委員会

梅崎修委員長のもと、昨年度から開始した会場と一体感があり臨場感のある「キャリア・デザイン・ライブ！」を毎月 1 回全 6 回、特別研究会を 3 回実施し、ニューズレターにおいても会場の臨場感が伝わる報告が紹介された。毎回定員数を超える申し込みがあり非会員の参加も多く会員獲得にも繋がっている。

④研究誌編集委員会

川崎友嗣委員長のもと、各編集委員のご尽力により、研究誌『キャリアデザイン研究 Vol.12』を 9 月末日に発行の予定で編集作業を進めている。35 件の投稿があり、6 月 27 日現在、掲載決定が 1 件（論文）、査読中が 23 件、不採択 8 件、辞退 3 件となっている。また、事務局の提案に基づき、Web 登録について検討中である。

⑤広報委員会

内田勝久委員長のもと、キャリアデザイン・ニューズレター及びキャリアデザイマガジンを定期発行した。2016 年 4 月より、本学会ホームページに「私のキャリアデザイン」の掲載を再開するとともに、会員向けの情報発信強化、および新規会員の獲得を狙いに入れ、ソーシャルメディア（以下、SNS）の活用による学会活動の情報発信に関するガイドラインを策定し、現在は、広報委員会が SNS を活用した学会活動を紹介している。

⑥キャリア研究・政策・国際交流委員会

脇坂明委員長のもと、10 年という長期のビジョンで、キャリアデザイン学会の研究の方向性を考えることを主目的として、5 名の委員会を構成した。委員長、副委員長以外の委員を各分野から選抜し、「キャリア形成と人材育成」をテーマに議論にはいり、OJT について 8 月 26 日に委員によるシンポジウムをキャリア・デザイン・ライブの形式で行った。

⑦15 周年記念事業委員会（新設）

武石恵美子委員長のもと、学会設立 15 周年に向けて、キャリア研究・政策・国際交流委員会と連携しつつ、記念事業の方向性の検討を開始することとした。

(2) 地域活動

各支部長と連携を図りながら各支部主催の研究会を開催した。

①関西支部

松高政支部長のもと、支部役員会を 2 回開催し、第 6 回支部研究大会、第 18 回支部研究会を開催した。

②中京支部

金井篤子支部長のもと、年 3 回の中京支部研究会を開催した。

5. その他の活動

①「日本キャリアデザイン学会」の商標登録申請について

「日本キャリアデザイン学会」の商標は、法政大学が2005年6月3日からの10年間、学校法人法政大学を商標権者として登録されていたが、期間満了日後は更新されず、法人格を持たない当学会は申請者になれないことから、中村恵会長個人で申請し、平成28年6月24日に登録を完了した。

②業務委託書締結について

株式会社エイチ・ユーの業務内容変更に伴い、2014年4月より事務局業務を委託している株式会社文伸との業務委託契約書と秘密情報等保持契約書を正式に締結した。

③他学会等との連携について

多摩地区高等学校進路指導協議会／多摩地区専修学校協議会と連携し「チャレンジプログラムシンポジウム2015」を、琉球大学と連携し沖縄地区における「キャリアデザイン研究会」を、日本産業カウンセリング学会第21回（法人化第1回）大会を後援した。

6. 決算

研究会企画委員会による「キャリア・デザイン・ライブ！」やキャリア研究・政策・国際交流委員会による10年ビジョンシンポジウムなどによる非会員の方々の参加や会員増加による会費収入の増加や経費節減に努め、単年度収支の改善を図り、研究助成金・15周年記念大会委員会事業費の積み立てに寄与した。

以上

《資料 2》 活動日誌

行事等	日付	主な内容	場所
研究大会	2015 年 9 月 5 日、 6 日	第 12 回研究大会 学会特別企画:「農業とキャリアデザイン～これからの農業を支える人材育成の為に～」 うちやま農園 内山佳奈氏、農林水産省経営局就農・女性課 女性・高齢者活動推進室長 佐藤一絵氏、北海学園大学大学院 赤坂武道氏（司会） 特別講演:「当事者研究という働き方、暮らし方ーべてるの家の挑戦ー」 北海道医療大学 向谷地生良氏 学会主催シンポジウム:「地域社会におけるこれからのライフスタイルとキャリア形成」 河西郡芽室町長 宮西義憲氏、北海道女性起業家 rimrim 事業組合代表 河野有美氏、北海学園大学経営学部 大平義隆氏、法政大学 眞保智子氏（コーディネーター）	北海学園大学 豊平キャンパス
理事会	2015 年 9 月 5 日	2014年度第2回・2015年度第1回理事会 2014年度事業報告、活動日誌、2014年度中間決算、2015年度活動計画、2015年度予算、その他（役員人事）等について	北海学園大学 豊平キャンパス
研究大会企画委員会	2015 年 9 月 6 日	2016 年度研究大会について	北海学園大学 豊平キャンパス
ニュースレター	2015 年 9 月 15 日	キャリアデザイン・ニュースレター第 132 号	
事務局	2015 年 9 月 16 日	事務局引き継ぎ	産業能率大学 2 号館
研究会	2015 年 9 月 25 日	第61回研究会 （キャリア・デザイン・ライブ！第4回「パラリンピックメダリストと共に歩んで」） 日本パラリンピックノルディックスキーチーム 監督 荒井秀樹氏	法政大学市ヶ谷キャンパスキャリア情報ルーム
キャリア研究・政策・国際交流委員会	2015 年 9 月 25 日	第1回キャリア研究・政策・国際交流委員会 日本キャリアデザイン学会10年ビジョンについて、2016年度シンポジウムについて	学習院大学
メールマガジン	2015 年 10 月 7 日	キャリアデザインマガジン 122 号	
ニュースレター	2015 年 10 月 15 日	キャリアデザイン・ニュースレター第133号	
研究会	2015 年 10 月 23 日	第62回研究会 キャリア・デザイン・ライブ！第5回「生き抜くためのエンパワメントとしてのキャリア教育・キャリア支援」 神奈川県立百合丘高等学校総括教諭・NPO法人多文化共生ネットワークかながわ理事 吉田美穂氏	法政大学市ヶ谷キャンパスキャリア情報ルーム

行事等	日付	主な内容	場所
中京支部	2015 年 10 月 31 日	第6回中京支部研究会 「学校現場におけるキャリア形成支援～小学校から大学までの流れの中で～」 愛知教育大学教育学部 高綱睦美氏、名古屋大学 学生相談総合センター 船津静代氏	名古屋大学 教育学部第 3 講義室
研究組織委員会	2015 年 11 月 1 日	第1回研究組織委員会小委員会 第13回研究大会テーマについて、10年ビジョンシ ンポジウムについて、奨励研究・ポスターセッシ ョンについて、ワーキンググループについて、 2014年度決算について	産業能率大 学 2 号館
関西支部	2015 年 11 月 14 日	第6回関西支部研究大会 (1) 建学の精神に則った高等学校での社会貢献型ビ ジネスプログラムの実践報告 百合学院高等学校 大森順子氏 (2) 「『21世紀型能力』育成を目指した地域プロジ ェクト学習と教育効果の検証 -普通科進学高 校における『学びへの志』を育む実践-」 岡山県立倉敷南高等学校 山下陽子氏、京都産 業大学 松高政氏 (3) 「大学生から見た親子関係とその認知がキャリア 意識に及ぼす影響」 関西大学大学院 新居田久美子氏 関わり方』の実施報告と、授業アンケートから 見る 若者・学生の意識の傾向について」 NPO法人CaPSAY 五十川進氏	関西大学社 会学部（第 三学舎）
ニュースレター	2015 年 11 月 13 日	キャリアデザイン・ニュースレター第 134 号	
研究会	2015 年 11 月 27 日	第63回研究会 キャリア・デザイン・ライブ！第6回 労働組合の 隠された可能性-「欲しいけれど、作れない」の越 え方 現日本労働組合総連合会（連合）・元UAゼンセン 二宮誠氏 労働政策研究・研修機構 濱口桂一郎氏（コメン テーター）	法政大学市 ヶ谷キャン パスキャリ ア情報ルー ム
メールマガジン	2015 年 12 月 3 日	キャリアデザインマガジン 123 号	
研究大会企画委 員会	2015 年 12 月 5 日	第1回研究大会企画委員会 第13回大会について、奨励研究・ポスターセッシ ョンについて	日本経済大 学渋谷キャンパス
研究会	2015 年 12 月 12 日	特別研究会 キャリア・デザイン・ライブ！ウィンター・スペ シャル 学び方改革の「舞台裏」-現場はどのよう に動いているのか？- 上越教育大学 山田智之氏、立教大学 館野泰一 氏	産業能率大 学 2 号館
ニュースレター	2015 年 12 月 15 日	キャリアデザイン・ニュースレター第135号	

行事等	日付	主な内容	場所
常務理事会	2016 年 1 月 11 日	第1回常務理事会 第13回研究大会について、ワーキンググループについて、10年ビジョンシンポジウムについて、2015年度スケジュールについて、会員の資格の喪失について、その他	産業能率大学 2 号館
研究組織委員会	2016 年 1 月 11 日	第1回常務理事会・研究組織委員会合同会議 第13回研究大会テーマ・大会概要・スケジュール・奨励研究について、研究組織委員会2015年度活動方針について、学会スローガンについて、その他	産業能率大学 2 号館
ニュースレター	2016 年 1 月 15 日	キャリアデザイン・ニュースレター第 136 号	
広報委員会	2016 年 2 月 1 日	第1回広報委員会 今後の広報活動について、FBの活用について、「私のキャリアデザイン」について、その他	産業能率大学 2 号館
研究誌編集委員会	2016 年 2 月 3 日	第1回研究誌編集委員会 研究誌 (Vol. 12) の編集、今後のスケジュールについて、その他	ぶんしん出版
メールマガジン	2016 年 2 月 5 日	キャリアデザインマガジン 124 号	
ニュースレター	2016 年 2 月 15 日	キャリアデザイン・ニュースレター第 137 号	
研究会企画委員会	2016 年 2 月 15 日	第1回研究会企画委員会 本年度のキャリア・デザイン・ライブについて、その他	法政大学市ヶ谷キャンパスキャリア情報ルーム
キャリア研究・政策・国際交流委員会	2016 年 3 月 1 日	第1回キャリア研究・政策・国際交流委員会 「10年ビジョンシンポジウム」について、その他	法政大学市ヶ谷キャンパス
中京支部	2016 年 3 月 5 日	第7回中京支部研究会「女性のキャリア支援を考える(女性活躍推進法に関連して)」 愛知労働局雇用均等室室長 白髭かすみ氏、ふくい女性活躍支援センター女性キャリア相談員 松岡幸代氏	名古屋大学教育学部第 3 講義室
関西支部	2016 年 3 月 5 日	第18回関西支部研究会 「若年就業者の組織への適応課題と適応促進要因」 甲南大学経営学部教授 尾形真実哉氏	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス D202 教室 (D 号館 2 階)
ニュースレター	2016 年 3 月 15 日	キャリアデザイン・ニュースレター第138号	
ワーキンググループ	2016 年 3 月 21 日	第1回研究誌電子媒体化WG WG設置の趣旨、他学会の状況について、会員のニーズ調査、電子媒体化の方法について、その他	産業能率大学 2 号館
常務理事会	2016 年 3 月 21 日	第2回常務理事会 第13回大会プログラムについて、投票用紙書式変更について、入会申込書書式変更について、業務委託契約書について、FB内規について、その他	産業能率大学 2 号館

行事等	日付	主な内容	場所
研究組織委員会	2016 年 3 月 21 日	第2回常務理事会・研究組織委員会合同会議 第13回大会プログラムについて、理事選挙について、FBの活用について、研究組織委員会報告、当学会スローガンについて、その他	産業能率大学 2 号館
ワーキンググループ	2016 年 3 月 21 日	第1回ガバナンスWG WG設置の趣旨、理事選挙スケジュールについて、その他	産業能率大学 2 号館
事務局	2016 年 4 月 7 日	事務局打ち合わせ 業務委託契約書締結について、その他	ぶんしん出版
メールマガジン	2016 年 4 月 12 日	キャリアデザインマガジン125号	
ニュースレター	2016 年 4 月 15 日	キャリアデザイン・ニュースレター第139号	
研究会	2016 年 4 月 22 日	第64回研究会 キャリア・デザイン・ライブ！第1回「データから見る若年無業者支援」 認定NPO法人育て上げネット理事長 工藤啓氏、 東京工業大学大学マネジメントセンター准教授 西田亮介（コメンテーター）	法政大学市ヶ谷キャンパスキャリア情報ルーム
ニュースレター	2016 年 5 月 16 日	キャリアデザイン・ニュースレター第140号	
研究会	2016 年 5 月 27 日	第65回研究会 キャリア・デザイン・ライブ！第2回「心を豊かにするワインの魅力」 有限会社サンク・センス 代表取締役社長フランス ボルドー大学公認ワインテイスター 松浦尚子氏	法政大学市ヶ谷キャンパスキャリア情報ルーム
メールマガジン	2016 年 6 月 6 日	キャリアデザインマガジン126号	
ニュースレター	2016 年 6 月 15 日	キャリアデザイン・ニュースレター第141号	
研究会	2016 年 6 月 24 日	第66回研究会 キャリア・デザイン・ライブ！第3回「寺院消滅時代の生涯キャリアデザイン」 日経BP社 鶴飼秀徳氏	法政大学市ヶ谷キャンパスキャリア情報ルーム
常務理事会	2016 年 7 月 3 日	第3回常務理事会 第13回研究大会プログラム、次期理事選挙候補者の審査、業務委託契約書締結、特別顧問就任について、第13回研究大会自由投稿者審査、商標登録について	産業能率大学 2 号館
研究組織委員会	2016 年 7 月 3 日	第3回常務理事会・研究組織委員会合同会議 第13回研究大会関係、奨励研究について、企業参加者との情報交換会について、研究組織委員会報告、当学会スローガンについて	産業能率大学 2 号館
中京支部	2016 年 7 月 9 日	第8回中京支部研究会（第13回研究大会プレ企画） 「職業高校における人づくりと学びの場づくり」 同志社大学大学院（院生） 服部文彦氏、愛知県立松平高等学校 松本禄生氏	名古屋大学教育学部第3講義室

行事等	日付	主な内容	場所
ニュースレター	2016 年 7 月 11 日	キャリアデザイン・ニュースレター臨時号	
ニュースレター	2016 年 7 月 15 日	キャリアデザイン・ニュースレター第142号	
研究会	2016 年 7 月 16 日	特別研究会 キャリア・デザイン・ライブ！ 夏のスペシャル 「ドラムサークル！を体感する！ ～リズム・ビートとキャリアデザイン」 ミュージシャン 橋田 “ペッカー” 正人 氏	東京スポーツ文化館 (BunB) ミュージックスタジオ B
選挙管理委員会	2016 年 7 月 20 日	理事選挙開票	法政大学
メールマガジン	2016 年 8 月 8 日	キャリアデザインマガジン127号	
理事会準備会議	2016 年 8 月 14 日	理事会準備会議 理事選挙結果について、会長選出、副会長・常務理事等の承認について、その他	東京駅前会議室
常務理事会	2016 年 8 月 14 日	第4回常務理事会 第13回研究大会・総会について（事業報告案、中間決算、事業計画、予算案）、委員会報告等	東京駅前会議室
ワーキンググループ	2016 年 8 月 14 日	第2回ガバナンスWG 理事選挙結果について、総会について	東京駅前会議室
ニュースレター	2016 年 8 月 15 日	キャリアデザイン・ニュースレター第143号	
関西支部	2016 年 8 月 20 日	第19回関西支部研究会 「高校生のキャリアデザイン～高等学校におけるキャリア教育の効果と課題」 立命館宇治中学校・高等学校教諭 酒井淳平氏 コメンテーター 京都産業大学 松高政氏・追手門学院大学 三川俊樹氏	追手門学院 大阪梅田サテライト セミナールーム
研究会	2016 年 8 月 26 日	特別研究会 キャリア・デザイン・ライブ！ シンポジウム 「人材育成とキャリア形成-0JTに焦点をあてて」 神戸学院大学 中村恵氏、東京大学 中原淳氏、労働政策研究・研修機構 藤本真氏、学習院大学 脇坂明氏	法政大学市ヶ谷キャンパス

《資料3》 日本キャリアデザイン学会商標登録の件

	
商 標 登 録 証 (CERTIFICATE OF TRADEMARK REGISTRATION)	
登録第5860854号 (REGISTRATION NUMBER)	
商 標 (THE MARK)	(標準文字) 日本キャリアデザイン学会
指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分 (LIST OF GOODS AND SERVICES)	
第41類	職業意識と地域社会との関わりを含めた人生設計のあり方を研究する学問に関するセミナー及びシンポジウムの企画・運営又は開催
第42類	職業意識と地域社会との関わりを含めた人生設計のあり方を研究する学問に関する調査又は研究
商標権者 (OWNER OF THE TRADEMARK RIGHT)	
中村 恵	
出願番号 (APPLICATION NUMBER)	
出願口 (FILING DATE)	商願2015-089483 平成27年 9月16日 (September 16, 2015)
登録日 (REGISTRATION DATE)	平成28年 6月24日 (June 24, 2016)
この商標は、登録するものと確定し、商標原簿に登録されたことを証する。 (THIS IS TO CERTIFY THAT THE TRADEMARK IS REGISTERED IN THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)	
平成28年 6月24日 (June 24, 2016)	
特許庁長官 (COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)	
小宮義則 	

◀資料 4▶ 奨励研究採択者の件

日本キャリアデザイン学会 奨励研究募集結果について

- ◆奨励金 1 件につき 10 万円
- ◆採択件数 上限 5 件とする
- ◆審査機関 研究組織委員会、及び 研究大会企画委員会
- ◆研究期間 2016 年 9 月から 2017 年 8 月

(※採択者の義務 採択者は、第 14 回研究大会での発表, 及び『キャリアデザイン研究』Vol. 13 への投稿を行うこととする。)

会員番号	氏名	研究主題
C140021	軽部 雄輝氏	「大学生の就職活動支援プログラムの再検討の試み」
C140037	人見 美佳氏	「外国につながる子どもたちを受入れる大学における実態調査」
C040418	本庄 麻美子氏	「大学初期キャリアにおける早期離職」
C120155	水野 雅之氏	「就職活動に対する認知評価とコーピングが就職活動に及ぼす影響」
C120110	綿貫 登美子氏	「多様化する高齢期のライフスタイルと生きがい ー高齢者の状況に配慮した就業促進と能力活用の取組み」

以上 5 件の採択を決定いたしましたことをご報告いたします。

研究大会企画委員会 委員長 青木猛正

《資料５》 2015 年度中間決算承認の件

日本キャリアデザイン学会 2015 年度決算書（中間）

貸借対照表

2016年7月31日現在

資産・負債別／科目			金 額	備 考
資産の部	流動資産	現金	39,254	
		普通本口（三菱東京UFJ）	8,587,303	
		普通大会口（三菱東京UFJ）	440,022	
		普通関西大会口	208,711	
		郵便貯金	78,977	
		普通中京支部	5,500	
		売掛金	0	
		前払費用	0	
		仮払金	0	
		流動資産合計	9,359,767	
	資 産 合 計		9,359,767	
負債の部	流動負債	未払金	540,789	
		前受金	0	
		預り金	30,568	
		流動負債合計	571,357	
	負 債 合 計		571,357	
正 味 財 産 の 部			8,788,410	
(うち当期収支差額)			4,648,043	今後の支出予算額 4,578,989円
負債及び正味財産合計			9,359,767	

日本キャリアデザイン学会 2015 年度決算書（中間）

収支計算書

2015年10月1日～2016年7月31日

(単位：円)

科目別	決算 (2016. 7. 31現在)	予算(2016. 8. 1～ 9. 30)	最終決算 見込み	2015年度予算	差額
I. 収入の部					
会費収入	9,909,000	91,000	10,000,000	9,100,000	900,000
大会会費収入	450,000	650,000	1,100,000	1,100,000	0
研究会参加費収入	125,000	75,000	200,000	150,000	50,000
研究誌等販売収入	186,610	13,390	200,000	200,000	0
関西支部収入	72,000	153,000	225,000	20,000	205,000
中京支部収入	42,000	0	42,000		42,000
地域活動収入	0	0	0	20,000	-20,000
その他事業収入	0	0	0	0	0
受取利息	338	162	500	500	0
雑収入 (印税他)	148,523	0	148,523	0	148,523
当期収入計 (A)	10,933,471	982,552	11,916,023	10,590,500	1,325,523
前期繰越資金	4,140,367	□	4,140,367	3,919,141	221,226
収入合計 (B)	15,073,838	982,552	16,056,390	14,509,641	1,546,749

科目別	決算 (2016. 7. 31現在)	予算(2016. 8. 1～ 9. 30)	最終決算 見込み	2015年度予算	差額	備考
II. 支出の部						
大会関連支出	103,480	2,296,520	2,400,000	2,400,000	0	13回大会分
関西支部支出	101,738	100,000	201,738	20,000	181,738	
中京支部支出	36,500	0	36,500	0	36,500	
地域活動費	0	0	0	50,000	-50,000	
業務委託費	2,098,940	583,200	2,682,140	2,311,200	370,940	事務局委託費、弁理士手数料等
研究会費 (広告宣伝費)	48,724	0	48,724	108,000	-59,276	
旅費交通費	472,016	100,000	572,016	400,000	172,016	理事会、委員会等交通費
通信費・運賃	1,150,731	250,200	1,400,931	1,150,000	250,931	ホームページ管理等、メール配信、 会員への送付
諸謝金	280,926	100,000	380,926	300,000	80,926	研究会諸謝金、テープ起こし
会合費	117,400	0	117,400	50,000	67,400	施設使用料
消耗品費	88,773	30,000	118,773	200,000	-81,227	封筒
印刷費	1,458,869	0	1,458,869	1,770,000	-311,131	研究誌vol.11印刷分、製本工施
租税公課	56,400	0	56,400	0	56,400	商標登録出願の印紙代
支払手数料	180,931	119,069	300,000	50,000	250,000	
諸会費	90,000	0	90,000	90,000	0	中央職業能力開発研究会年会費
研究助成金	0	500,000	500,000	500,000	0	
15回記念大会委員会事業費	0	500,000	500,000	500,000	0	15周年に向けた積立 (50万円×4 年)
予備費・雑費	0	0	0	276,256	-276,256	
当期支出計 (C)	6,285,428	4,578,989	10,864,417	10,175,456	688,961	
当期収支差額 (A) - (C)	4,648,043		1,051,606	415,044	636,562	
次期繰越資金 (B) - (C)	8,788,410		5,191,973	4,334,185	857,788	

≪資料 6≫ 2016 年度予算案の件

日本キャリアデザイン学会 2016 年度予算（案）

収支計算書

2016年10月1日～2017年9月30日

(単位：円)

科目別	2016年度予算	2015年度予算	2015年度 決算見込み	差額 (2016年度予算- 2015年度決算 見込み)
I. 収入の部				
会費収入	10,500,000	9,100,000	10,000,000	500,000
大会会費収入	1,300,000	1,100,000	1,100,000	200,000
研究会参加費収入	200,000	150,000	200,000	0
研究誌等販売収入	200,000	200,000	200,000	0
関西支部収入	200,000	20,000	225,000	-25,000
中京支部収入	30,000	0	42,000	-12,000
地域活動収入	20,000	20,000	0	20,000
その他事業収入	0	0	0	0
受取利息	500	500	500	0
雑収入（印税他）	0	0	148,523	-148,523
当期収入計（A）	12,450,500	10,590,500	11,916,023	534,477
前期繰越資金	5,191,973	3,919,141	4,140,367	1,051,606
収入合計（B）	17,642,473	14,509,641	16,056,390	1,586,083

科目別	2016年度予算	2015年度予算	2015年度 決算見込み	差額 (2016年度予算- 2015年度決算 見込み)	備考
II. 支出の部					
大会関連支出	2,400,000	2,400,000	2,400,000	0	2016年度は、14回大会分。運営費 (350千含む)
関西支部支出	200,000	20,000	201,738	-1,738	
中京支部支出	50,000	0	36,500	13,500	
地域活動費	150,000	50,000	0	150,000	キャリア・デザイン・ライブ地方出張ライブ
業務委託費	2,740,000	2,311,200	2,682,140	57,860	事務局委託費2,640千(+60万円)、 会計事務(100千)
研究会費（広告宣伝費）	100,000	108,000	48,724	51,276	
旅費交通費	650,000	400,000	572,016	77,984	理事会、委員会等交通費
通信費・運賃	1,400,000	1,150,000	1,400,931	-931	IP維持費ぶんしん(400千)、IP維持 費田(200千) NL(200千)、会員への 送付
諸謝金	400,000	300,000	380,926	19,074	研究会講師謝金、テープ起こし
会合費	100,000	50,000	117,400	-17,400	施設（会議室）使用料
消耗品費	200,000	200,000	118,773	81,227	封筒等
印刷費	1,770,000	1,770,000	1,458,869	311,131	研究誌Vol.12発行分(1,620千)+封筒 代(150千)
租税公課	0	0	56,400	-56,400	2015年度 商標登録印紙代
支払手数料	300,000	50,000	300,000	0	銀行振込手数料、口座引き落とし手 数料
諸会費	90,000	90,000	90,000	0	中央職業能力開発研究会年会費
研究助成金	500,000	500,000	500,000	0	奨励研究
15回記念大会委員会事業費	500,000	500,000	500,000	0	15周年に向けた積立（50万円×4 年）
予備費・雑費	250,000	276,256	0	250,000	企業勉強会等
当期支出計（C）	11,800,000	10,175,456	10,864,417	935,583	
当期収支差額（A）－（C）	650,500	415,044	1,051,606	-401,106	
次期繰越資金（B）－（C）	5,842,473	4,334,185	5,191,973	650,500	

《資料 7》 『学会規約』 改定案について

改定趣旨

会員が 1 3 0 0 名を越える規模になったが、学会規約第 6 条第 1 項に抵触する会員の増加が判明したため、学会の設立趣旨と目的の理解ならびに本学会の規約の遵守を明確にするため規約を明確化する。

改定後	改定前
(資格の喪失) 第 9 条 会員は、次の各号の一の事由によってその資格を喪失する。 （１）退会の申し出があったとき （２）会費を <u>3 年間</u> 滞納したとき （３）本会の名誉を傷つけ、又は目的に違反する行為を行い、もしくは会員の資格要件を失ったと理事会が認めたとき	(資格の喪失) 第 9 条 会員は、次の各号の一の事由によってその資格を喪失する。 （１）退会の申し出があったとき （２）会費を <u>長期間</u> 滞納したとき （３）本会の名誉を傷つけ、又は目的に違反する行為を行い、もしくは会員の資格要件を失ったと理事会が認めたとき

≪資料 8≫ 2016 年度事業計画案の件

1. 当学会の問題意識と基本的な考え方

今日、学校や事業組織、政府自治体の政策などでは、キャリアデザインという言葉は広汎に使われるに至っているが、その意味は必ずしも統一されているわけではない。学問分野を超えた学際的な学会として、またアカデミックと現場実務との相互交流及び相互作用を重視する学会として、用語・概念の整理や深化、現場実態の多角的な検討やその理論的解釈など、キャリアに関する基礎研究とその成果共有の必要性、重要性は今後も変わらない。

付け加え、キャリアデザイン支援の有り方については、それぞれの発達段階における個々の事例研究のさらなる蓄積とともに、今後は各発達段階における支援の連続性と非連続性に着目し、あわせて各段階における多層性とその支援の多様性も視野に入れて活動する。

2. 今期および中期的活動計画

当学会は一昨年度設立 10 周年を迎え、昨年度より新たな 5 年、10 年に向けた学会発展の基礎の構築を開始した。10 周年記念誌が明らかにしたこれまでの成果の整理と課題のまとめ、および第 11 回研究大会企画シンポジウムで交わされた議論をふまえ、昨年度は学会活動組織のさらなる充実を図るとともに、新たな施策・活動にも着手することができた。

今年度においては、昨年度の実績を土台とし、引き続きキャリアデザインの創造的相互作用の更なる深化を追求するとともに、今後 10 年間の研究活動・社会的活動・地域活動の新たな発展の基礎を構築することを活動目標とする。

＜新たな試みとして企業等所属会員の相互交流や勉強の機会を設けることを検討する＞

なお、学会活動及びそのサービスの更なる発展と向上のため、様々な観点から学会運営のあり方を再点検し、より充実した効率的な学会活動を実現する施策についても、引き続き今年度も検討する。

(1)研究組織委員会の活動

各委員長を中心に、諸活動を推進する。

①研究組織委員会

前年度に引き続き、学会としてのキャリアデザインに関する学術的研究の方向性および方針を総合的に検討する。あわせて学会の持続的発展を可能とするために、研究組織全体の効率的運営に向けた検討も行う。

②研究大会企画委員会

第 14 回研究大会（成城大学）の大会テーマ、基本方針の決定、自由研究発表の募集、大会企画の検討、及び当日の運営を行う。また、学会奨励研究の要項の作成、募集、及び奨励研究の採択を行う。

③研究会企画委員会

2016 年度も 2014 年度から開始したキャリア・デザイン・ライブ！を継続する。キャリア教育、労働問題などできるだけ幅広いテーマを選び、10 - 12 月に全 3 回を実施する予定。

④研究誌編集委員会

2016 年 12 月 1 日から 2017 年 1 月 10 日まで投稿を受け付け、研究誌 Vol. 13 を発行する。研究誌電子媒体化WGにおける検討を踏まえ、電子媒体化について検討する。また、既刊の論文等の J-STAGE への登録や学会ホームページでの公開についても検討する。

⑤広報委員会

キャリアデザイン・ニュースレター及びキャリアデザインマガジンを定期発行する。学会ホームページ「私のキャリアデザイン」は、四半期ごとに掲載、ソーシャルメディア（以下、SNS）の活用による学会活動の情報発信は適宜行う。会員向けのサービスとして、会員情報の共有について検討する。

⑥キャリア研究・政策・国際交流委員会

委員会での議論と8月のシンポジウム、そして9月学会での中間報告をふまえ、OJTについて議論の中身を深め、OJTとその他のキャリア関連のテーマにも広げていく。できるだけ公開の場所で発表と討論を行い、将来の学会における研究の方向を提言していきたい。

⑦15周年記念事業委員会

15周年（2019年度）の記念事業に関して、2016年秋ごろに委員会を組織し、具体的な事業内容について検討を開始する予定。キャリア研究・政策・国際交流委員会の「10年ビジョン」と連携しつつ、企画内容を検討する。

(2) 地域活動

各支部長と連携を図りながら各支部主催の研究会の推進、地域の会員との交流会を開催する。

①関西支部

年2回の研究会、年1回の研究大会を開催する。

②中京支部

年3回の研究会を開催する。

③その他の地域

各地区での交流会の積極的な推進を検討している。

3. その他の活動

会員へのサービス向上につながる施策を打ち出し、積極的な参加の促進と新規会員の獲得に努める。役員と会員の協働によって諸活動を推進していきたい。

①研究組織委員会の強化

2014年度から組織化した研究組織委員会を各委員会の上位組織と位置づけ、年度方針、学会運営方針（一般社団法人化に向けた調査・研究・検討や、制度改革の可能性等今後の学会の方向性）について検討する。

②研究誌の発行方法の検討

研究誌電子媒体化WGにおける検討を踏まえ、電子媒体化について検討する。電子化による会員サービスの向上ならびに既刊の論文等のJ-STAGEへの登録や学会ホームページでの公開についても検討する。

③自主研究の支援

会員の研究奨励のため、奨励研究の公募を継続して実施していく。

④他学会等との連携

キャリアに関する研究活動を行っている学会、研究機関、メディア等と連携した研究活動をさらに推進し、創造的相互作用を目指す。

⑤キャリア・デザイン・ライブの地方開催

2014年度から開始したキャリア・デザイン・ライブ！を地方にて特別研究会としての開催を検討する。

⑥企業等所属会員との相互交流会・勉強の実施

10年ビジョンのシンポジウムの方向性を軸に、企業等所属会員の相互交流や勉強の機会の場を設けることを検討する。

以上

≪資料 9≫ 新役員候補者の件

1. 選挙結果概要

選挙人資格者	8 2 4 人 *前回 7 2 7 人
投票者数（投票率）	3 5 4 人 *前回 3 1 4 人（4 3 . 0 %）
うち有効得票	3 2 4 通 *前回 2 8 9 通
うち無効票	3 0 通 *前回 2 5 通
無効投票	0 通
締切到着（未開封）	3 0 通 *前回 2 3 通

2. 新役員候補者一覧

役職	氏名	所属
会長	脇坂 明	学習院大学
副会長	荻野 勝彦	トヨタ自動車（株）
副会長	金井 篤子	名古屋大学
副会長	末廣 啓子	宇都宮大学
常務理事	青木 猛正	埼玉県立滑川総合高等学校
常務理事	上西 充子	法政大学
常務理事	内田 勝久	富士電機（株）
常務理事	梅崎 修	法政大学
常務理事	玄田 有史	東京大学
理事	浅野 浩美	高齢・障害・求職者雇用支援機構
理事	荒井 明	産業能率大学
理事	生駒 俊樹	京都造形芸術大学
理事	岡田 昌毅	筑波大学大学院
理事	金子 尚絵	（株）税務研究会
理事	児美川 孝一郎	法政大学
理事	武石 恵美子	法政大学
理事	田中 潤	（株）ぐるなび
理事	中村 恵	神戸学院大学
理事	船津 静代	名古屋大学
理事	松高 政	京都産業大学
事務局長	荒井 明	産業能率大学
事務局次長	金子 尚絵	（株）税務研究会
顧問	清成 忠男	法政大学
顧問	川喜多 喬	順天堂大学
顧問	渡辺 三枝子	筑波大学
監事	田中 勝男	（公認会計士）
監事	米倉 浩伸	トリガーサーバント（株）

【研究組織委員会】

委員長	玄田 有史	東京大学
副委員長	浅野 浩美	高齢・障害・求職者雇用支援機構
副委員長	川崎 友嗣	関西大学

【研究大会企画委員会】

委員長	青木 猛正	埼玉県立滑川総合高等学校
副委員長	生駒 俊樹	京都造形芸術大学
副委員長	依田 素味	日本経済大学

【研究会企画委員会】

委員長	梅崎 修	法政大学
副委員長	田中 潤	(株) ぐるなび
副委員長	山田 智之	上越教育大学

【研究誌編集委員会】

委員長	児美川 孝一郎	法政大学
副委員長	上西 充子	法政大学
副委員長	岡田 昌毅	筑波大学大学院

【広報委員会】

委員長	内田 勝久	富士電機 (株)
副委員長	荻野 勝彦	トヨタ自動車 (株)

【キャリア研究・政策・国際交流委員会】

委員長	武石 恵美子	法政大学
副院長	佐藤 厚	法政大学

【15周年記念事業委員会】

委員長	末廣 啓子	宇都宮大学
副委員長	浅野 浩美	高齢・障害・求職者雇用支援機構

【関西支部】

委員長	松高 政	京都産業大学
副委員長	川崎 友嗣	関西大学

【中京支部】

委員長	金井 篤子	名古屋大学
副委員長	船津 静代	名古屋大学

《資料 10》

2017 年度研究大会・総会の開催

主宰校： 成城大学

日程：2017 年 9 月 2 日（土）・3 日（日）

東京都世田谷区成城 6-1-20

小田急線 成城学園駅前から徒歩 3 分

URL: <http://www.seijo.ac.jp/access/>



－お問い合わせ－

日本キャリアデザイン学会

〒181-0012
東京都三鷹市上連雀 1-12-17
三鷹ビジネスパーク
ぶんしん出版内

TEL.0422-55-6582 FAX.0422-55-6582

E-mail info@career-design.org

URL: <http://www.career-design>